



使用目的

本品はグルコース・パイロット血糖メーター及び検査ストリップと一緒に使用することで、測定結果の正確性の確認を行うことができます。

グルコース・パイロット コントロール液は既知量のグルコースを含んでいます。

必要な機器・試薬

1. Glucose Pilot 血糖メーター
2. Glucose Pilot 検査ストリップ
3. Glucose Pilot コントロール液

どのような時に使用するのか？

- メーターと検査ストリップが正しく作動しているか確認する時。
- メーターと検査ストリップが正しく作動していると疑われる時。
- 血糖測定結果が想定される数値と一致してないと思われる時。
- メーターに強い衝撃を与えた時、メーターを損傷した時。
- 検査ストリップのロットが変わった時。

試薬成分

グルコース・パイロット・コントロール液は、既知量のグルコースを含み、99%が非反応性成分です。

使用用途

グルコース・パイロット・コントロール液は研究用試薬です。

試験・研究目的以外の用途にはご使用できません。

保管・取扱方法

- コントロール液は室温(4~30°C)で保管してください。
直射日光や熱は避け、また、冷蔵・冷凍はしないでください。
- バイアルラベルに印刷されている使用期限迄に使用して下さい。
- 開封後は90日以内に使い切ってください。
- 使用後は必ずすぐにキャップを閉めてください。
- コンタミ(汚染)を避けるため、バイアルの先端を検査ストリップに直接接させないでください。

テスト手順

次のステップに従って、詳細はグルコース・パイロット クイックレファレンスガイドを参照して行ってください。

Step 1:

検査ストリップをメーターのテスト・ポートに、先端(ウェル)を上にして挿入してください。メーターは自動で電源オンになります。

間もなくディスプレイにメーターが正常に作動していることを示すアイコン 'GH' が数秒間表示され、その後コード番号が3秒間表示されます。
必要に応じてコード番号の設定を行ってください。

Step 2:

ディスプレイに 'mg/DL' または 'mmol/L' が表示されている間に 'S' ボタンを押し、コントロール液テストモード 'CTL' を選択すると、コントロール液テストが可能になります。コントロール液テストを行わない場合は '水滴アイコン' が表示される前に 'S' ボタンを押ししてください。

'CTL' サインは消え、メーターは血糖測定モードにもどります。

Step 3:

キャップを外してバイアルを押し、**コントロール液の最初の一滴分は破棄し、次の一滴分を非吸収性の面(例:アルミホイルやラップ)などに滴下して下さい。**コントロール液を検査ストリップ先端(ウェル)に接触させます。メーターは測定を開始し、テスト結果は数秒後に表示されます。

Step 4:

検査ストリップ容器のラベルに印刷されている "Glucose Pilot Control" の濃度範囲とテスト結果を比較してください。

(濃度範囲は検査ストリップのロット毎に異なる場合がございます)

Step 5:

テスト後は速やかに検査ストリップをメーターから取り除いてください。

検査ストリップが取り除かれるとメーターは自動で電源オフになります。

注) 検査ストリップを取り除くとき、'CTL' が表示から消えるまで 'S' ボタンを押すのを忘れないでください。

テスト結果について

テスト結果が検査ストリップ容器に表示されている濃度範囲を外れた場合の原因は次の事が考えられます。

- コントロール液の期限切れ若しくはコンタミ(汚染)
- 操作ミス (Step1~5)
- メーターのCode設定ミス (Step1)
- 検査ストリップの劣化、あるいは、不適切な保存
- メーター自体の故障
- コントロール液の最初の一滴分の破棄処分忘れ (Step3)
- 検査ストリップの開封後90日(3ヶ月)以上の経過

<重要>

コントロール液のテスト結果が検査ストリップ容器のラベルに印刷されている濃度範囲外の数値を示し、システムが正常に動作をしない場合は購入先にご連絡ください。

<注意>

コンタミ・劣化防止の為、メーター本体にセットされた検査ストリップにコントロール液のバイアルを直接接させないでください。